

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成19年8月3日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社 上場取引所 大証第2部
 コード番号 4120 URL <http://www.sugai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永岡 雅次 TEL (073) 422-1172
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 武田 晴夫

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成20年3月期 第1四半期	1,254	△11.2	56	△12.0	52	3.0	43	△7.7
平成19年3月期 第1四半期	1,412	1.2	64	6.9	50	19.9	46	16.9
平成19年3月期	7,734	—	461	—	386	—	340	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成20年3月期 第1四半期	3	14	—	—
平成19年3月期 第1四半期	3	40	—	—
平成19年3月期	24	85	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
平成20年3月期 第1四半期	11,027		4,820		43.7	351	62	
平成19年3月期 第1四半期	9,755		4,545		46.6	331	47	
平成19年3月期	10,845		4,854		44.8	354	13	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
平成20年3月期 第1四半期	239		△77		△451		709	
平成19年3月期 第1四半期	582		△108		△1,081		865	
平成19年3月期	727		△740		△467		993	

2. 平成20年3月期の業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	3,100	△2.4	180	△27.5	130	△38.6	120	△38.4	8	75
通期	8,100	4.7	530	14.8	410	6.1	380	11.5	27	72

3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当四半期におけるわが国経済は、原油価格高騰による影響があるものの、企業収益は改善し、設備投資も増加するなど、国内需要に支えられ景気回復が続いています。また、海外景気は、米国では減速気味であるものの中国では引き続き拡大し、ユーロ圏も緩やかに回復しています。

このような状況の中で当社の営業は、機能性中間物の国内向けが増加し、医薬中間物も前年同期並みとなりましたが、農薬中間物の輸出向けが減少したため、売上高は前年同期に比べ 158 百万円 (11.2%) 減少の 1,254 百万円となりました。

国内売上高は、医薬中間物は減少しましたが、農薬中間物及び機能性中間物で新製品の寄与があり前年同期に比べ 131 百万円 (23.8%) 増加の 684 百万円となりました。一方、輸出売上高は、医薬中間物は堅調に推移しましたが、農薬中間物が減少し前年同期に比べ 290 百万円 (33.8%) 減少の 569 百万円となりました。

また、利益につきましては前期に引続き原材料費の高騰、価格競争激化の影響はありましたが、製造原価低減及び生産性の向上に努めたこと等により、営業利益 56 百万円 (前年同期 64 百万円)、経常利益 52 百万円 (前年同期 50 百万円)、当四半期純利益 43 百万円 (前年同期 46 百万円) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産は、前期末に比べ 182 百万円増加の 11,027 百万円となりました。流動資産は、たな卸資産が 271 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 618 百万円並びに現金及び預金が 284 百万円減少したため、前期末に比べ 628 百万円減少の 5,127 百万円となりました。また、固定資産は福井工場での新プラント建設工事に伴い建設仮勘定が 897 百万円増加したことにより有形固定資産が 861 百万円増加しましたが、投資その他の資産で 50 百万円減少したため、前期末に比べ 810 百万円増加の 5,900 百万円となりました。

負債につきましては、前期末に比べ 216 百万円増加の 6,207 百万円となりました。これは主に借入金 が 420 百万円減少しましたが、未払金が 678 百万円増加したことによるためです。また、純資産は前期末に比べ 34 百万円減少の 4,820 百万円となり、自己資本比率は 43.7% (前期末 44.8%) となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

前回公表 (平成 19 年 5 月 21 日) の中間期及び通期の業績予想に修正はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当四半期より平成 19 年度法人税法改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更により損益に与える影響は軽微であります。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額まで償却が終了しているものについては、残存簿価を 5 年間で均等償却しております。

なお、当四半期で償却した金額は 14 百万円であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I 流 動 資 産					
現金及び預金	865	709	△ 156	△ 18.1	993
受取手形及び売掛金	1,294	1,822	528	40.8	2,441
たな卸資産	2,711	2,569	△ 141	△ 5.2	2,298
その他	48	25	△ 23	△ 47.8	22
流動資産合計	4,920	5,127	207	4.2	5,755
II 固 定 資 産					
有形固定資産	3,611	4,711	1,100	30.5	3,850
無形固定資産	5	5	-	-	5
投資その他の資産					
投資有価証券	1,114	1,097	△ 17	△ 1.6	1,144
その他	103	84	△ 18	△ 18.0	89
投資その他の資産合計	1,218	1,182	△ 35	△ 3.0	1,233
固定資産合計	4,835	5,900	1,064	22.0	5,089
資 産 合 計	9,755	11,027	1,272	13.0	10,845
(負 債 の 部)					
I 流 動 負 債					
支払手形及び買掛金	993	924	△ 69	△ 7.0	1,157
短期借入金	1,341	1,250	△ 91	△ 6.8	1,425
1年以内返済予定の 長期借入金	998	771	△ 226	△ 22.7	925
その他	609	1,478	869	142.7	591
流動負債合計	3,942	4,424	481	12.2	4,100
II 固 定 負 債					
長期借入金	986	1,499	512	51.9	1,589
その他	280	283	2	1.0	299
固定負債合計	1,267	1,782	515	40.7	1,889
負 債 合 計	5,209	6,207	997	19.1	5,990
(純 資 産 の 部)					
I 株 主 資 本					
資 本 金	2,510	2,510	-	-	2,510
資 本 剰 余 金	2,016	2,016	-	-	2,016
利 益 剰 余 金	△ 9	286	296	-	284
自 己 株 式	△ 2	△ 3	△ 0	39.5	△ 3
株 主 資 本 合 計	4,515	4,810	295	6.5	4,808
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等					
その他有価証券評価差額金	30	10	△ 20	△ 66.4	52
繰延ヘッジ損失	-	-	-	-	△ 5
評価・換算差額等合計	30	10	△ 20	△ 66.4	46
純 資 産 合 計	4,545	4,820	274	6.0	4,854
負 債 、 純 資 産 合 計	9,755	11,027	1,272	13.0	10,845

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	1,412	1,254	△ 158	△ 11.2	7,734
II 売 上 原 価	1,134	980	△ 153	△ 13.6	6,413
売 上 総 利 益	278	273	△ 4	△ 1.7	1,320
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	214	217	2	1.4	859
営 業 利 益	64	56	△ 7	△ 12.0	461
IV 営 業 外 収 益	14	21	7	47.9	38
V 営 業 外 費 用	28	26	△ 2	△ 7.6	113
経 常 利 益	50	52	1	3.0	386
VI 特 別 利 益	2	-	△ 2	△ 100.0	-
VII 特 別 損 失	4	7	2	59.3	39
税引前四半期(当期)純利益	48	44	△ 3	△ 7.4	346
税 金 費 用	1	1	0	2.6	5
四 半 期 (当 期) 純 利 益	46	43	△ 3	△ 7.7	340

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税 引 前 当 期 純 利 益	48	44	346
2. 減 価 償 却 費	100	108	425
3. 賞 与 引 当 金 の 増 加 額	40	60	41
4. 退 職 給 付 引 当 金 の 増 減 額	22	△15	24
5. 為 替 差 益	△3	△4	△4
6. 有 形 固 定 資 産 除 却 損	4	7	39
7. 売 上 債 権 の 増 減 額	739	618	△406
8. た な 卸 資 産 の 増 減 額	△261	△271	151
9. 仕 入 債 務 の 増 減 額	△48	△233	115
10. そ の 他	△43	△59	53
小 計	599	254	787
11. 利 息 及 び 配 当 金 の 受 取 額	11	12	15
12. 利 息 の 支 払 額	△20	△18	△71
13. そ の 他	△8	△9	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	582	239	727
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有 形 固 定 資 産 の 取 得 に よ る 支 出	△113	△79	△751
2. そ の 他	5	2	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108	△77	△740
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短 期 借 入 金 の 純 減 少 額	△789	△175	△505
2. 長 期 借 入 に よ る 収 入	-	-	1,100
3. 長 期 借 入 金 の 返 済 に よ る 支 出	△292	△244	△1,061
4. 配 当 金 の 支 払 額	-	△30	-
5. そ の 他	△0	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,081	△451	△467
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	4	4
V 現金及び現金同等物の減少額	△602	△284	△475
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,468	993	1,468
VII 現金及び現金同等物の期末残高	865	709	993